



狙いを定めてボールを転がす選手

楽しく笑顔があふれる 町の長寿スポーツ大会

町長寿スポーツ大会が7月4日、町社会体育館で行われ町内の高齢者など220人が参加しました。開会式で町老人クラブ連合会の土谷育造会長は「笑顔あふれる大会にしてほしい」とあいさつしました。地区ごとに5つのチームに分かれ、はちまきを身につけた選手らは、団体競技に取り組みました。久しぶりに新しい種目がとり入れられ、どのチームも大苦戦しましたが、応援席で見守るチームの声援に、笑顔でこたえていました。結果は江刈地区が優勝。川下幸一さん（五日市）は「練習の成果を、十分発揮できて良かったです」と喜びました。



一緒に花の苗を植える児童と人権擁護委員

助け合って育てよう！ 江刈小で人権の花活動

町の人権擁護委員は7月6日、江刈小学校（小野公代校長・児童33人）の児童とともに花の苗を植えました。この活動は、子どもたちが、花を育てることを通して協力することの大切さや命の大切さを身に付け、やさしい思いやりの心を育てていくことを目的として町内の小学校で順番に実施しています。この日は、同校の1年生と6年生の14人と人権擁護委員3人がサルビアやペチュニアなどの植え付け作業を一緒に行いました。委員の下屋敷利美さん（大明神）は「思いやりの心を持ち、やさしい気持ちで花を育ててください」と呼びかけました。

強い心を築く特別活動 杉田先生がアドバイス

県小学校教育研究会特別活動部会の研修会が7月9日、町総合センターで開催され町内外の小・中学校の教員など100人が参加しました。文部科学省教科調査官の杉田洋先生が「強い心を築く特別活動」と題して講義。特別活動（教科以外の学級会活動、児童・生徒会活動、クラブ活動や学校行事など）は、“人を育てる”教育で、集団生活の中でよりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育てるもの。全国各地の実践活動を紹介しながら、指導方法など時間を超えて熱心にアドバイスしました。



熱心にアドバイスする杉田先生

9月舞台上演に向けて 劇団らくりん座と練習

小屋瀬小学校（菊池育子校長・児童28人）は7月6日、栃木県を拠点とする「劇団らくりん座」によるワークショップを同校体育館で開催しました。このワークショップは、9月28日に同校で上演予定の劇団らくりん座の舞台「おこんじょうり」に同校の児童が出演するため行われたものです。児童たちは体操やじゃんけんなど表現遊びのあと、劇団員の指導を受けてせりふや振り付けの練習を行いました。外山秋翔さん（1年）は「楽しく上手にできたので良かったです」と感想を語りました。



振り付けの練習に取り組む児童たち

葛巻神楽や歌謡ショー 七夕にぎわい市を開催

町商工会主催の七夕にぎわい市は7月7日、JRバス東北葛巻駅構内で開かれました。「土曜市」から「にぎわい市」へ名称を変え、地元の商店や飲食店など16店が屋台村を開設。葛巻高校郷土芸能部による葛巻神楽や三浦わたるの歌謡ショーなど、来場者は勇壮な踊りや歌を楽しみながら、惣菜などを買い求めていました。また、七夕の日にちなんで、「子どもたち集まれ！短冊に願いを込めて！」というイベントが行われ「志望校に合格できますように」「プールにいっぱい入れますように」などと書かれたたくさんの短冊が笹に飾られました。



おいしい惣菜などを買い求める人たち④、勇壮な舞を披露する葛巻高校郷土芸能部員ら



手際よくおからの漬け床をつくる参加者

ジャガイモやおからの 漬け床づくりに挑戦！

町公民館主催の食文化再発見「第1回漬け物講座」が7月8日、丹野ヨリさん（新町）を講師に町総合センターで開催され町民ら20人が参加しました。漬け床といえば「糠」ですが、今回は「ジャガイモ」と「おから」の漬け床に挑戦。ジャガイモは、ゆでてつぶし、ザラメと塩を混ぜ、おからには塩、みょうばん、鷹の爪を手際よく混ぜました。参加者はでき上がった漬け床に、各家庭から持ち寄ったキュウリや大根などの野菜を漬けました。村中セツさん（山岸）は「ジャガイモもおからも初めて。みんなと作業できて楽しいです」と話しました。